

[注意事項]

本件は、物件番号1，2のみの売却です。

入札の際には、物件番号をお間違えのないようご
注意ください。

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 8 月 2 6 日

名古屋地方裁判所民事第 2 部

裁判所書記官 小久保 由希江

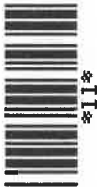
別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 9 月 1 0 日から 令和 7 年 9 月 1 7 日 午後 5 時 0 0 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 9 月 2 4 日 午前 9 時 3 0 分 場 所 名古屋地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 1 0 月 8 日 午前 1 0 時 3 0 分 場 所 名古屋地方裁判所民事第 2 部
特別売却 実施期間	令和 7 年 1 0 月 1 日 午前 9 時 0 0 分から 令和 7 年 1 0 月 1 日 午後 4 時 0 0 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規 則 3.3 条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 8 月 2 6 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

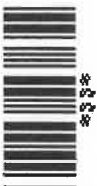


物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	6,140,000 4,912,000	一括	1,228,000	69,849	0
1	2,550,000				
2	3,590,000				



物 件 目 録

- 1 所 在 小牧市大字大草字鹿見ヶ根
地 番 5785番578
地 目 宅地
地 積 392.25平方メートル
- 2 所 在 小牧市大字大草字鹿見ヶ根 5785番地578
家屋 番号 5785番578
種 類 居宅
構 造 木造スレート葺2階建
床 面 積 1階 124.21平方メートル
2階 99.37平方メートル
- (現況)
- 種 類 居宅・寄宿舍
床 面 積 1階 約130.83平方メートル
2階 99.37平方メートル
- (未登記附属建物)
- 種 類 事務所
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 約 9.94平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年 7月31日

名古屋地方裁判所民事第2部

裁判所書記官 小久保 由希江

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

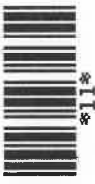
本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意



味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。

5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- 1 所 在 小牧市大字大草字鹿見ケ根
 地 番 5785番578
 地 目 宅地
 地 積 392.25平方メートル

- 2 所 在 小牧市大字大草字鹿見ケ根 5785番地578
 家屋 番号 5785番578
 種 類 居宅
 構 造 木造スレート葺2階建
 床 面 積 1階 124.21平方メートル
 2階 99.37平方メートル
 (現況)
 種 類 居宅・寄宿舍
 床 面 積 1階 約130.83平方メートル
 2階 99.37平方メートル
 (未登記附属建物)
 種 類 事務所
 構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
 床 面 積 約 9.94平方メートル



令和 7 年(ケ)第 129 号

令和 7 年 6 月 16 日受理

令和 7 年 7 月 7 日提出

現 況 調 査 報 告 書

(物件 1, 2)

名古屋地方裁判所

執行官 池 上 浩 美

物 件 目 録

- | | | | |
|---|-------|-------------------------------|-------------------|
| 1 | 所 在 | 小牧市大字大草字鹿見ヶ根 | |
| | 地 番 | 5 7 8 5 番 5 7 8 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 3 9 2. 2 5 平方メートル | |
| 2 | 所 在 | 小牧市大字大草字鹿見ヶ根 5 7 8 5 番地 5 7 8 | |
| | 家屋 番号 | 5 7 8 5 番 5 7 8 | |
| | 種 類 | 居宅 | |
| | 構 造 | 木造スレート葺 2 階建 | |
| | 床 面 積 | 1 階 | 1 2 4. 2 1 平方メートル |
| | | 2 階 | 9 9. 3 7 平方メートル |

(土地・建物用)

不動産の表示	「物件目録」のとおり					
住居表示	(住居表示未実施)					
土地	物件1					
現況地目	■宅地(物件1) □公衆用道路(物件) □ (物件)					
形状	□公図のとおり □地積測量図のとおり □建物図面(各階平面図)のとおり ■土地建物配置図(概略)(以下「配置図」という)のとおり					
占有者及び占有状況	■土地所有者(破産管財人) □その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している □「占有者及び占有権原」のとおり					
下記以外の建物(目的外建物)	■ない □ある(詳細は、「目的外建物の概況」のとおり)					
その他の事項						
建物	物件2					
種類、構造及び床面積の概略	□公簿上の記載とほぼ同一である ■公簿上の記載と次の点が異なる ■種 類：居宅・寄宿舍 □構 造： ■床面積：1階約130.83平方メートル 2階99.37平方メートル					
物件目録にない附属建物	□ない ■ある ┌ 種 類：事務所 ├ 構 造：木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 └ 床面積：約9.94平方メートル					
占有者及び占有状況	■建物所有者(破産管財人) □その他の者 上記の者が本建物を居宅(空き家)、附属建物を事務所(空き家)として管理・占有している □「占有者及び占有権原」のとおり					
上記以外の敷地(目的外土地)	■ない □ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)					
その他の事項						
執行官保管の仮処分	■ない □ある ┌ 地方裁判所 支部 平成 年()第 号 └ 保管開始日 平成 年 月 日					
土地建物の位置関係	□建物図面(各階平面図)のとおり ■配置図のとおり					

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (破産管財人)	1 物件1, 2土地・建物(以下「本件物件」という。)は, 管財業務の一環として私が管理しています。 2 物件2建物は空き家の状態で, 誰も住んでいません
■ B (所有者)	1 私が物件2建物の未登記増築部分を造ったのは, 20年位前のことです。 2 未登記附属建物(以下「附属建物」という。)は, 平成5, 6年頃に債務者名岐合同株式会社(以下「会社」という。)の事務所として造ったもので, 所有者は私です。 3 会社は, 本件物件所在地を本店所在地として登記していますが, 同所では稼働しておらず, 現在, 附属建物も使用していませんので, 同建物は空き事務所です。 4 物件1土地は, 境界で問題になったことはありません。

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 1 本件物件の状況は、別紙配置図、建物間取図(概略)及び添付写真のとおりであり、物件1土地の接道状況は同配置図のとおりである。
- 2 附属建物については、物件2建物と近接しており、その所有者は物件2建物の所有者と同一であると思料する。その他、現認した状況も併せて総合すると、附属建物の附属性を認めることができるものと判断した。
- 3 物件1土地上に物件2建物及び附属建物がそれぞれ建てられており、同土地のその余の敷地部分は駐車場と庭地である。なお、駐車場部分と建物敷地部分との間には約1.5メートルの高低差がある。
- 4 物件2建物及び附属建物の占有状況は、関係人の陳述及び現認した状況から2枚目に記載のとおり認めた。なお、本件物件について、第三者が占有する徴表は認められなかった。
- 5 物件2建物の状況については、同建物は築約36年の木造建物であり、経年に相当する劣化の程度は大きく、良好な状態とは言えないものと思料する。また、附属建物については、その一部は高低差のある駐車場部分にはみ出して建てられているため、建物と駐車場部分を支柱で支えているが、一部の支柱は劣化によりその役割を果たしていない。
- 6 物件1土地の境界については、境界標の存在は確認できなかったが、同土地に関する地積測量図が存在すること関係人の陳述及びその他現認した状況から、特に争いは生じていないものと思料する。また、現地において同土地を概測したところ、その数値は概ね同測量図と一致することから、同土地の面積も概ね公簿上と一致するものと思料する。
- 7 他に占有権原を推認し得る資料は見当たらなかった。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7 年 6 月 17 日(火) 10 : 00－10 : 10	名古屋法務局	土地建物登記事項証明書申請
7 年 6 月 18 日(水) 10 : 00－10 : 10 10 : 30－10 : 40	名古屋法務局 当庁	公図，地積測量図，建物図面等申請 破産管財人 A から事情聴取(電話)
7 年 6 月 20 日(金) 11 : 35－11 : 50	目的物件所在地	目的物件確認，物件 1 土地調査，外観写真撮影
7 年 7 月 2 日(水) 9 : 40－11 : 00	目的物件所在地	目的物件確認，室内外立入調査，写真撮影(評価人同行)
7 年 7 月 4 日(金) 15 : 40－15 : 50	当庁	B から事情聴取(電話)

(特記事項)

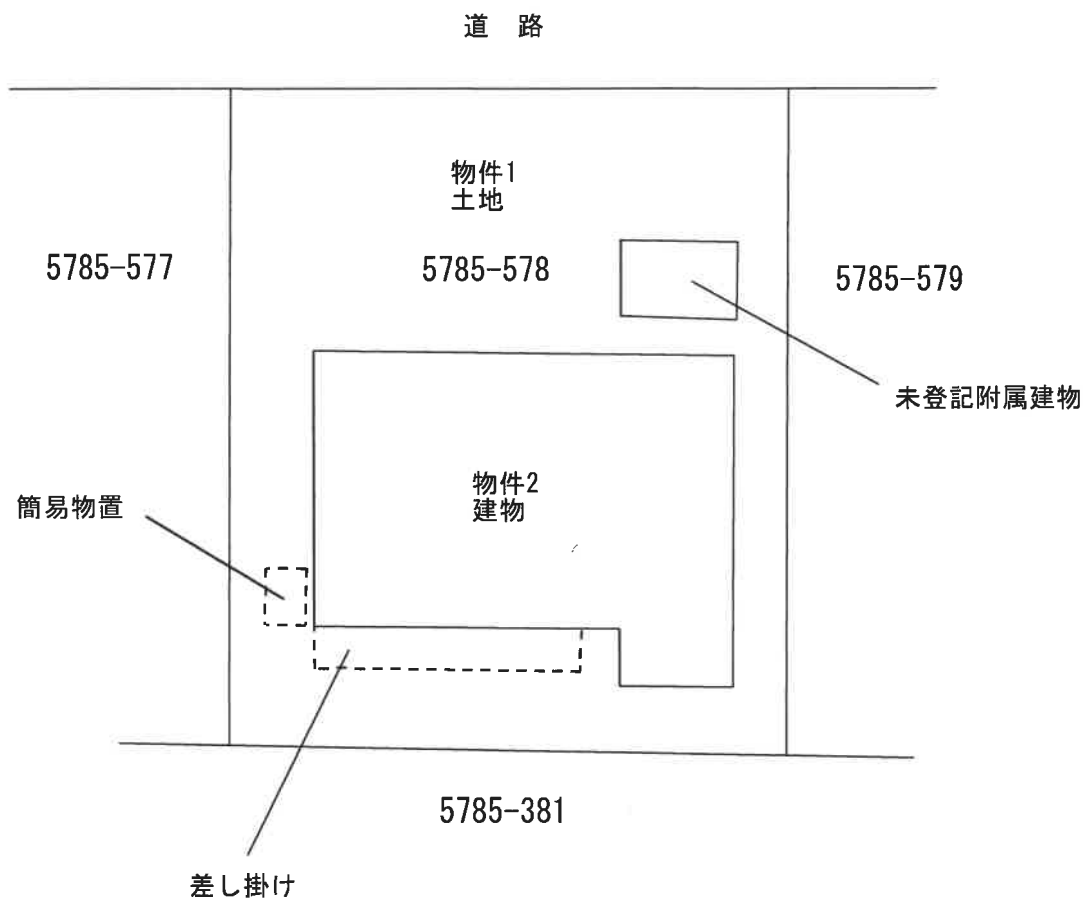
☐ 平成 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

☒ 令和 7 年 7 月 2 日
物件 2 建物及び附属建物は，債務者不在で施錠されていたので，立会人を立ち合わせ，破産管財人 A から借用した鍵を用いて解錠し，各建物内に立ち入った。

☐

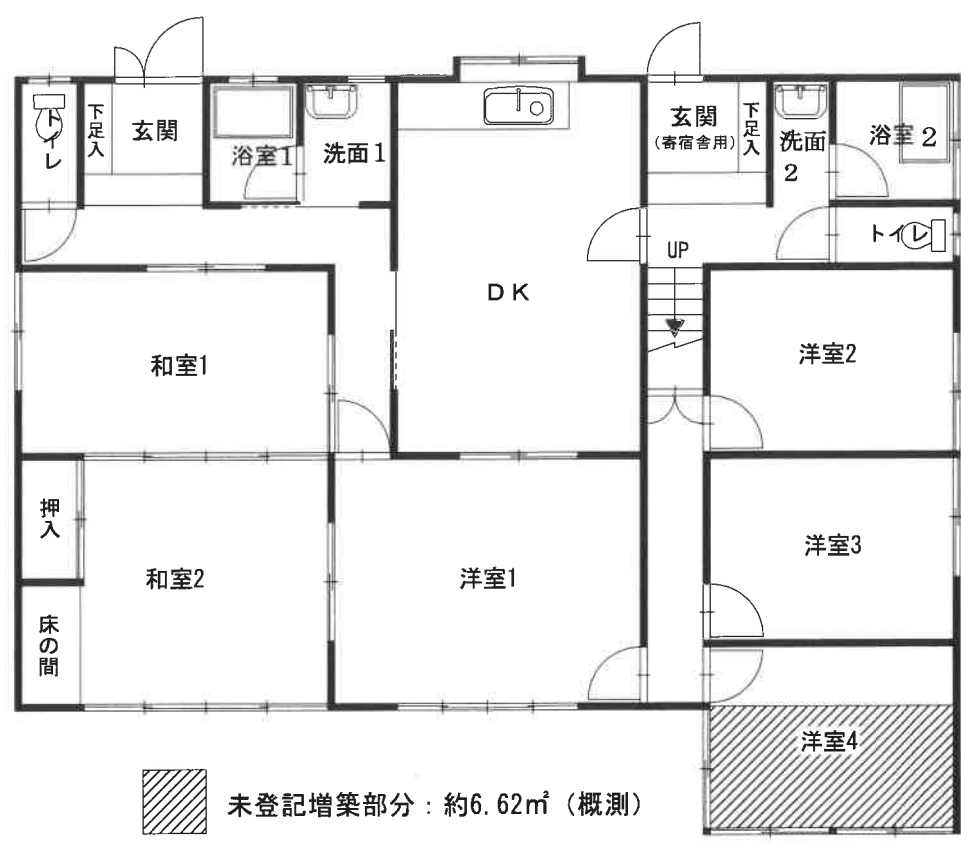
(注) チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

令和7年（ケ）第129号
土地建物配置図（概略）



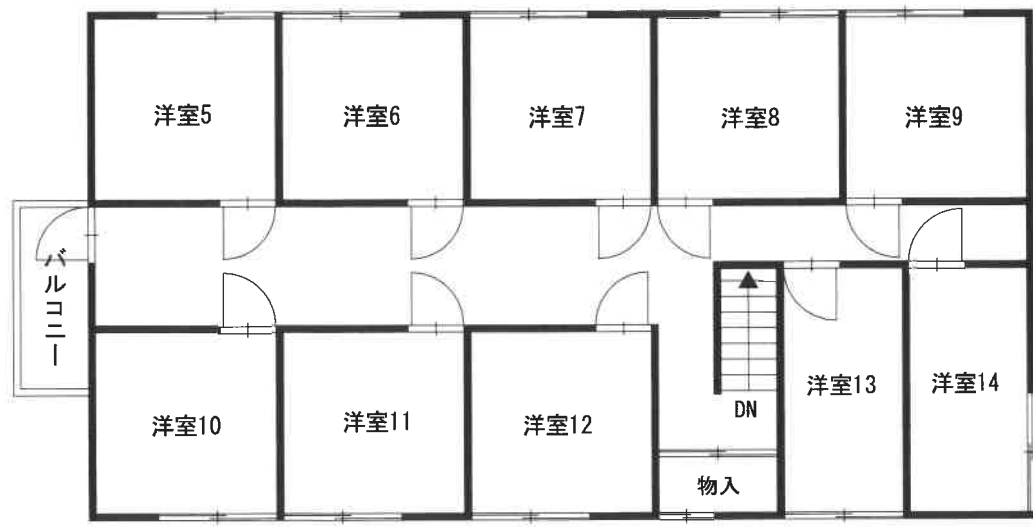
S=1/250

令和7年（ケ）第129号
建物間取図（概略）

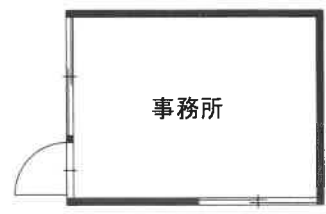


物件2建物
1階

 未登記増築部分：約6.62㎡（概測）



物件2建物
2階



未登記附属建物：約9.94㎡（概測）

写真1

物件2建物



未登記附属建物

物件1土地

道路

写真2

物件2建物

簡易物置

差し掛け



隣地(5785-577)

物件1土地

写真 3

物件 2 建物未登記増築部分



写真 4

物件 2 建物

1 階室内(和室 2)



写真 5

物件 2 建物

1 階室内(浴室 1)



写真 6

物件 2 建物

1 階室内(DK)



写真 7

物件 2 建物

1 階室内(洋室 1)



写真 8

物件 2 建物

1 階室内(洋室 4)



未登記増築部分 3

写真 9

物件 2 建物

1 階室内(洋室 3, 壁の穴)



写真 1 0

物件 2 建物

1 階室内(洋室 2)



写真 1 1

物件 2 建物

1 階室内(浴室 2)



写真 1 2

物件 2 建物

2 階室内(洋室 9)



写真 1 3

物件 2 建物

2 階室内(洋室 1 1)



写真 1 4

未登記附属建物室内



令和7年 (ケ) 第129号
物件1, 2
令和7年 6月19日受理
令和7年 7月2日現地調査
令和7年 7月29日評価

名古屋地方裁判所民事第二部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

佐藤 和徳

第1 評価額

一 括 価 格	
金 6, 1 4 0, 0 0 0 円	
内 訳 価 格	
物件1（土地）	金 2, 5 5 0, 0 0 0 円
物件2（建物）	金 3, 5 9 0, 0 0 0 円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、競売の目的物の種類又は品質に関する不適合については担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地目 地積	小牧市大字大草字鹿見ヶ根 5785番578 宅地 392.25平方メートル	同左
2	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	小牧市大字大草字鹿見ヶ根 5785番地578 5785番578 居宅 木造スレート葺2階建 1階 124.21平方メートル 2階 99.37平方メートル	特記事項記載のとおり
番号	特記事項		
2	・物件2建物は、現況「居宅・寄宿舍」として利用されている。 ・物件2建物の1階で未登記部分（概測で約6.62㎡）があるため、現況床面積は1階が約130.83㎡である。 ・物件2建物の戸外に未登記の附属建物（種類：事務所、構造：木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建、床面積：約9.94㎡（概測））が存する。		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	名鉄小牧線「味岡」駅 東方 道路距離約6,500m こまき巡回バス「市民四季の森南」停 南西方 道路距離約340m (附属資料「位置図」参照)	
付近の状況	畑等の農地が広がる中、一般住宅、事業所等が散見される地域	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化調整区域 指定なし 60% 200% — 居住誘導区域外、都市機能誘導区域外 砂防指定地内、宅地造成等工事規制区域内
画地条件	地積 392.25㎡ 間口 約17m、奥行 約22m 形状 ほぼ長方形	
接面道路の状況	物件1の土地は、北東側で幅員約5mの舗装道路（小牧市所有の市道認定外の道路（農道扱い））とほぼ等高に接面する（建築基準法第42条1項1号道路）。	
土地の利用状況等	物件1の土地は、物件2建物及び未登記附属建物の敷地として利用されている。物件1の土地の北側は道路を挟んで一般住宅、東側は一般住宅、南側は農地等、西側は一般住宅等である。	
供給処理施設 (敷地内引込の有無を基準としている)	上水道 あり ガス配管 なし 下水道 なし（個別浄化槽）	
土壌汚染の可能性の調査	土壌汚染の可能性について過去の住宅地図を昭和45年まで遡って調査した結果、以前は住宅の一部若しくは未利用地であったと推定される。汚染の原因となる物質を含むかは不明であるが、本件土地は土壌汚染対策法に基づく要措置区域・形質変更時要届出区域には該当していない。	
特記事項	・本件土地について周知の埋蔵文化財包蔵地に該当しない。 ・本件土地について小牧市建築課聴取内容によると、確認番号：1指令小建第3-27号に基づき既存宅地確認をして、建物の建築が行われている。従って、建物再建築（宅地利用）できる可能性が高いが、建て替え等に際しては小牧市建築課に確認が必要である。 ・本件土地の北東側に未登記附属建物が存する（土地建物配置図（概略）参照）。 ・本件土地の西側に簡易物置が設置されていた（土地建物配置図（概略）参照）。 ・物件2建物に接続して差し掛けが設置されていた（土地建物配置図（概略）参照）。 ・物件2建物の建築部分と北側駐車場部分の間に高低差（約1.5m）がある。	

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び 経済的残存耐 用年数	建築年月日（登記記載）平成1年8月6日新築 経過年数 約36年 経済的残存耐用年数 約0年
仕 様	構 造 木造2階建 屋 根 スレート葺 外 壁 サイディング等 内 壁 クロス貼等 天 井 クロス貼等 床 フローリング、畳等 設 備 電気、水道、ガス（プロパンガス） その他 2階は寄宿舍
床面積（現況）	1階 約130.83㎡ ※未登記部分1階（約6.62㎡）を含む。 2階 99.37㎡ 合計 約230.20㎡
現況用途等	現況用途 居宅・寄宿舍 間取り 1階（居宅）：6DK、2階（寄宿舍）：洋室×10室 （附属資料7 建物間取図（概略）のとおり）
品 等	普通
保守管理の状 態	やや劣る
建物の利用状 況	「現況調査報告書の記載のとおり」
特 記 事 項	・1階の洋室4の一部が未登記増築部分である（建物間取図（概略）参照）。 ・2階は10室の洋室から成る寄宿舍であり、1階東側で寄宿舍用の玄関が設置されていた。 ・内壁や床の各所で汚損が見られたほか、特に洋室4の床面に穴が空いていた。 ・建築年から推測すると、アスベスト含有建材等の使用に留意が必要である。

(物件 2 未登記附属建物)

区 分	附属建物（未登記）
建築時期及び 経済的残存耐 用年数	建 築 年 月 日 （未登記）平成5～6年頃。詳細は不明 経 過 年 数 約31～32年と推定 経済的残存耐用年数 約 0 年
仕 様	構 造 木造平家建 屋 根 亜鉛メッキ鋼板葺 外 壁 サイディング 内 壁 ボード 天 井 板貼り 床 板貼り 設 備 電気 その他 なし
床面積(現況)	約9.94㎡
現況用途等	現況用途 事務所 間取り 附属資料 7 建物間取図（概略）のとおり
品 等	普通
保守管理の状 態	やや劣る
建物の利用状 況	「現況調査報告書の記載のとおり」
特 記 事 項	・未登記の附属建物であり、数量については現地調査時における概測値である。建築年月日の詳細は不明であるが、関係人聴取内容より平成5～6年頃に建築したとの事である。 ・建築年から推測すると、アスベスト含有建材等の使用に留意が必要である。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付 減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	33,400	0.86	392.25	0.9	10,140,000

計算結果の数値は万円未満を四捨五入する端数処理を行った。(以下同じ)

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示 小牧-1

$$\begin{array}{ccccccc} \text{公示価格} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 41,300\text{円/㎡} & \times & 100/100 & \times & 100/99 & \times & 100/125 & = & 33,400\text{円/㎡} \\ & & & & & & & & (\text{上三桁未満四捨五入}) \end{array}$$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：規模 0.97 × 二方路 1.02 = 0.99

◇地域格差：街路 0.99 × 交通接近 1.05 × 環境 1.20 = 1.25

イ 個別格差：敷地内高低差 0.90 × 規模大 0.95 = 0.86

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地の適応の状態等を考慮した。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床 面積(㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ
2	176,000	230.20	0.02	810,000
物件2附属 (未登記)	121,000	9.94	0.02	20,000
合 計				830,000

ウ 現価率：

物件2

$$\text{現価率} = [\text{残価率}3\% + (1 - \text{残価率}3\%) \times \{\text{経済的残存耐用年数}0\text{年} / (\text{経済的残存耐用年数}0\text{年} + \text{経過年数}36\text{年})\}] \times (1 - \text{観察減価等}30\%) = 0.02$$

物件2附属（未登記）

$$\begin{aligned} \text{現価率} &= [\text{残価率}3\% + (1 - \text{残価率}3\%) \times \{\text{経済的残存耐用年数}0\text{年} / (\text{経済的残存耐用年数}0\text{年} + \text{経過年数約}31\sim32\text{年})\}] \times (1 - \text{観察減価等}30\%) \\ &= 0.02 \end{aligned}$$

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	10,140,000	0.55	法定地上権	5,580,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を55%と査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる 価格 (円) ア	土地利用権 等価格の控 除及び加算 (円) イ	占有 減価 修正 (円) ウ	市場 性修 正 エ	競売 市場 修正 オ	評価額 (円) [(ア±イ)-ウ]×エ ×オ
1	10,140,000	-5,580,000		0.80	0.7	2,550,000
2	830,000	+5,580,000	0	0.80	0.7	3,590,000
一括価格（合計）						6,140,000

ウ 占有減価修正：必要なし。

エ 市場性修正：建物がやや特殊な用途であり且つ老朽化していること及び市街化調整区域内の不動産需要の動向を考慮の上、市場性修正を判定した。

オ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

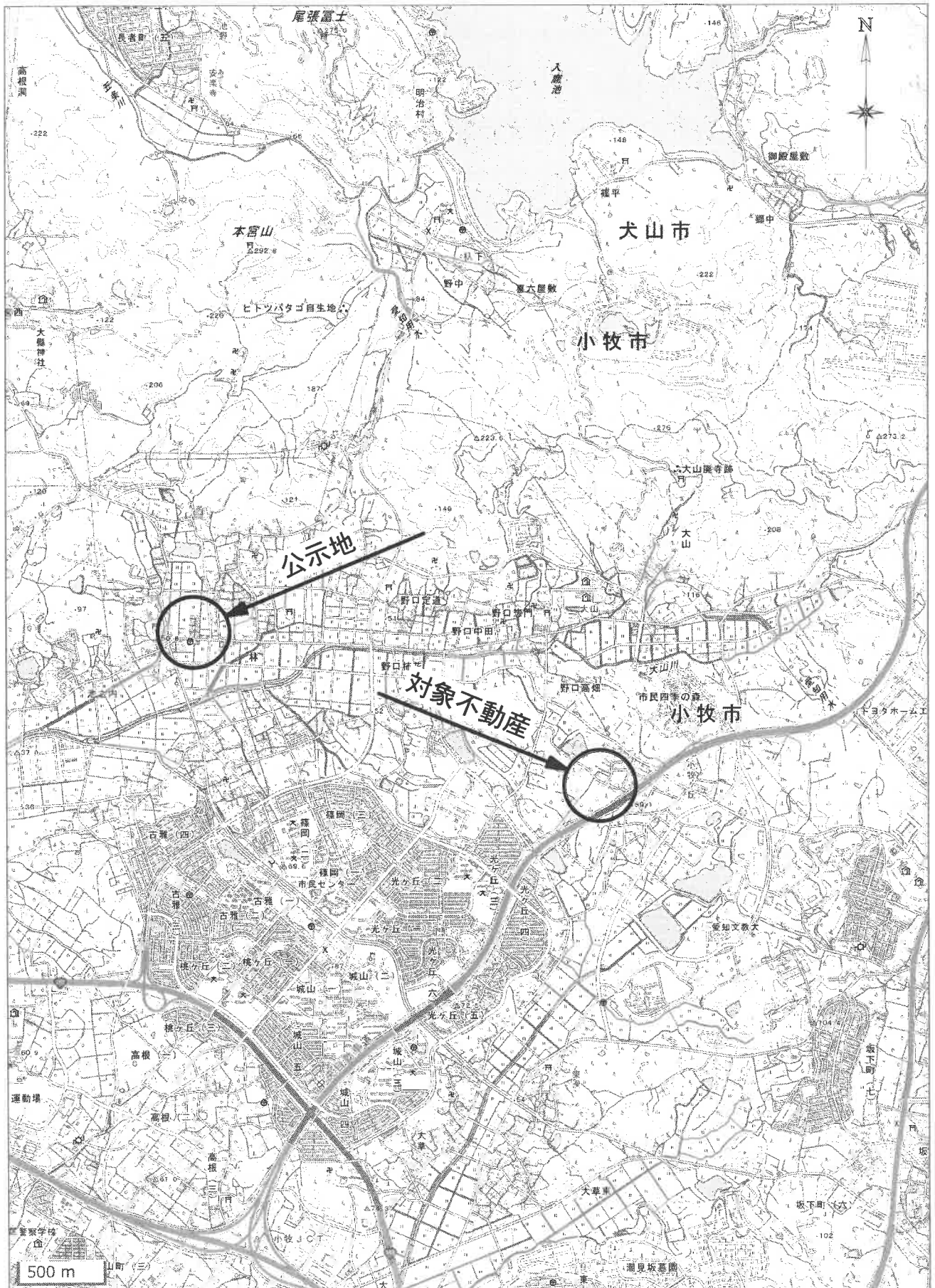
地価公示価格（小牧-1）

所 在：小牧市大字池之内字中赤堀 6 0 1 番 2 外
価 格：41,300円／㎡
位 置：名鉄小牧線「味岡」駅の東方道路距離約3,800m
価 格 時 点：令和7年1月1日
地 積：332㎡
供給処理施設：水道、下水
接 面 街 路：西側幅員4.5m私道に接面、東側側道
用 途 指 定 等：市街化調整区域（建ぺい率60％、容積率200％）
地 域 の 概 要：中規模一般住宅が多い郊外の住宅地域

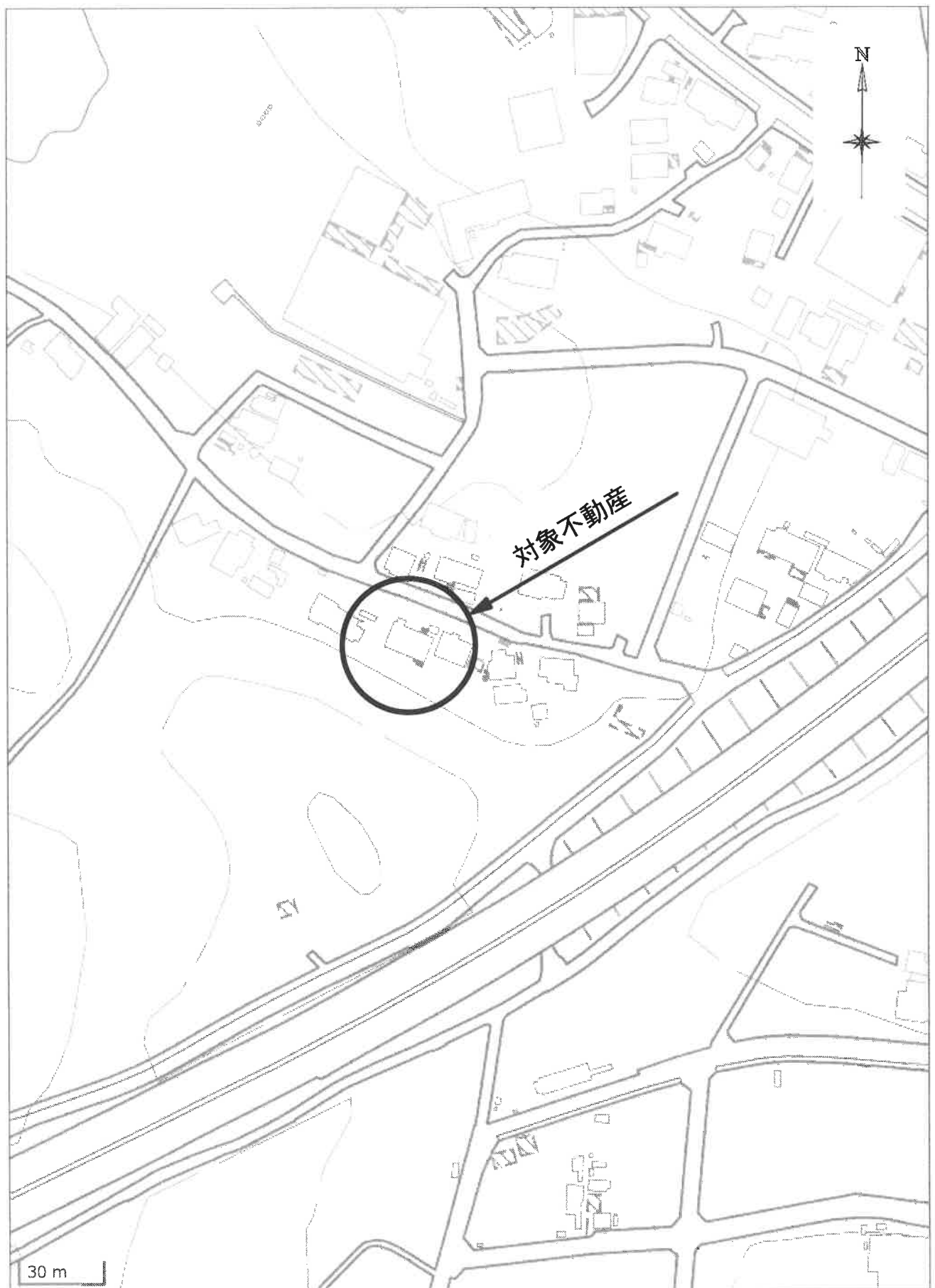
第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 付近案内図
- 3 公図写
- 4 地積測量図写
- 5 建物図面・各階平面図写
- 6 土地建物配置図（概略）
- 7 建物間取図（概略）
- 8 現況写真

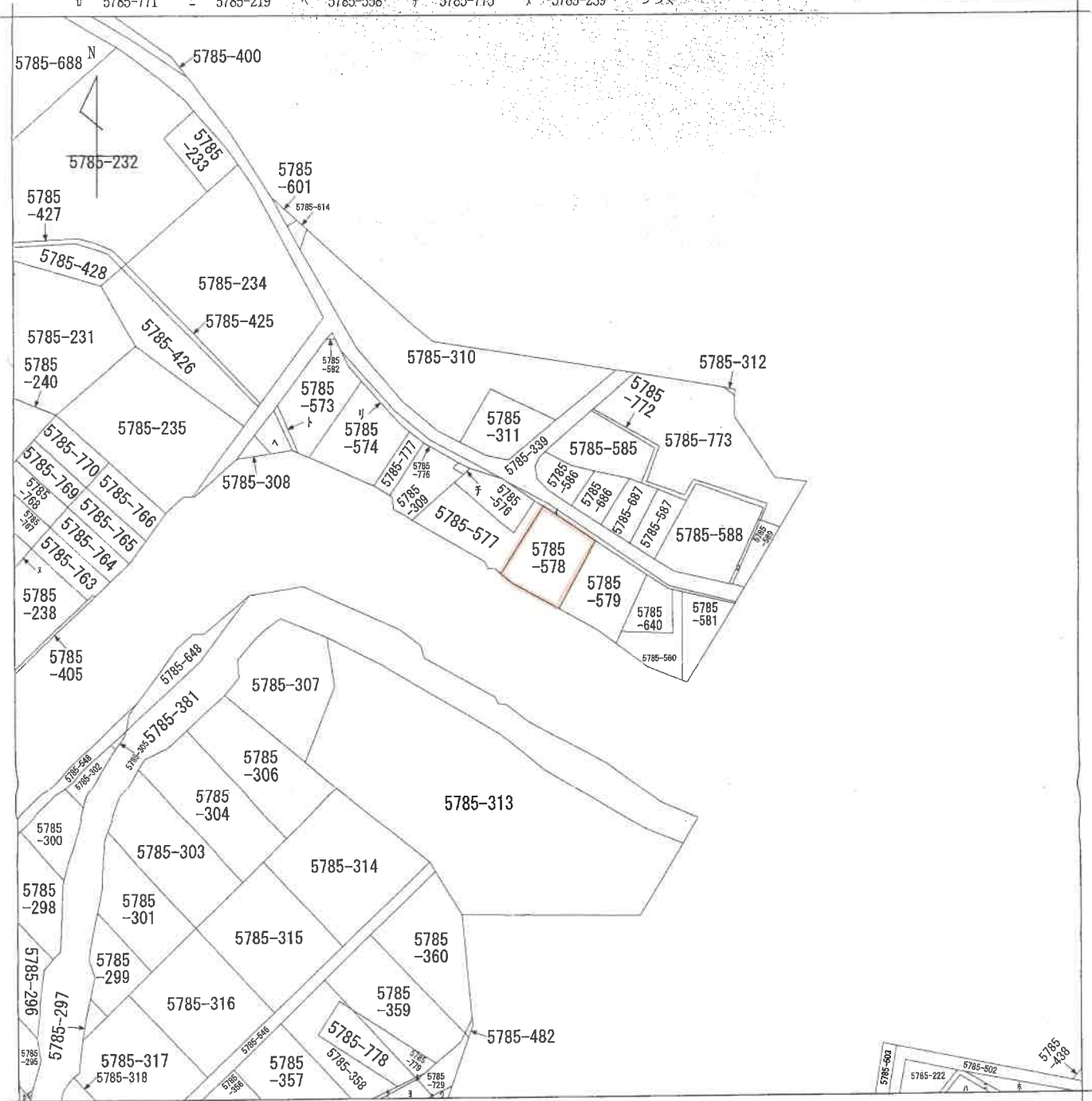
位置図



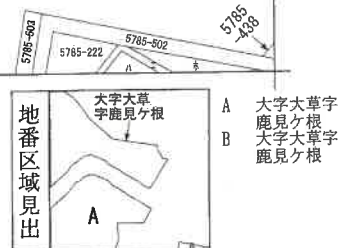
付近案内図



イ 5785-584 ハ 5785-190 ホ 5785-221 ト 5785-559 リ 5785-583 ル 5785-678
ロ 5785-771 ニ 5785-219 ヘ 5785-558 チ 5785-775 ス 5785-239 5785-678



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	小牧市大字大草字鹿見ヶ根			地番	5785番578		
出力縮尺	1/1200	精度区分	座標系又は記号	分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)			補記事項	

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

(名古屋法務局春日井支局管轄)

令和7年4月24日

名古屋法務局

請求番号：19-1

登記官

(1/2)

0022

前 5785-309 機・新 5785-309 -5732-584

100

550.7.23

縮尺	1/600
----	-------

登記年月日：昭和50年7月23日

1212031

前 5785-309 後・新 5785-309
-5772-584

5785-578-579-580-581
-584

地 積 測 量 図

小牧市大字大草字鹿見ヶ根

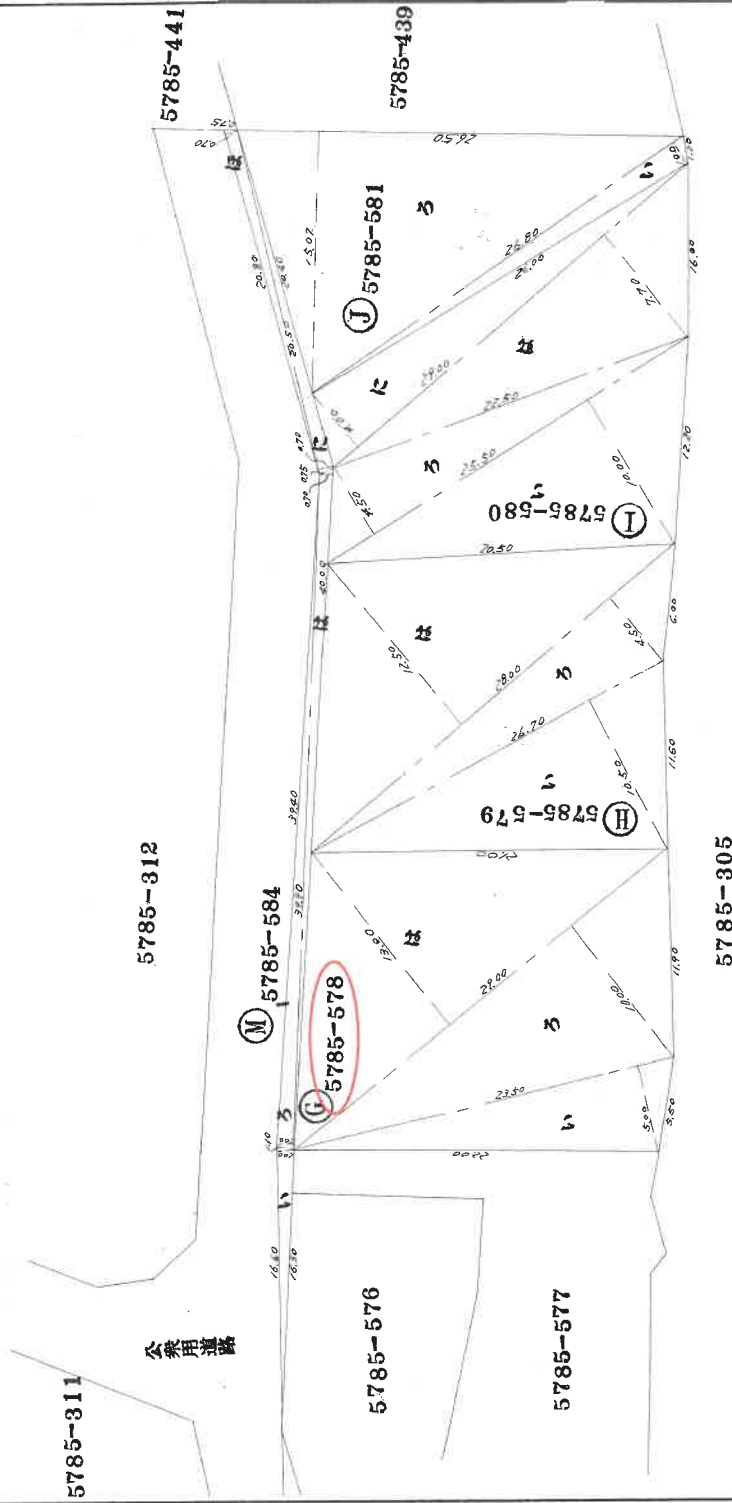
1/3

5.50.7.23.

作 製 年 月 日
昭和五〇年七月二十八日

作 製 者

申 請 人



縮 尺 1/300

2/3

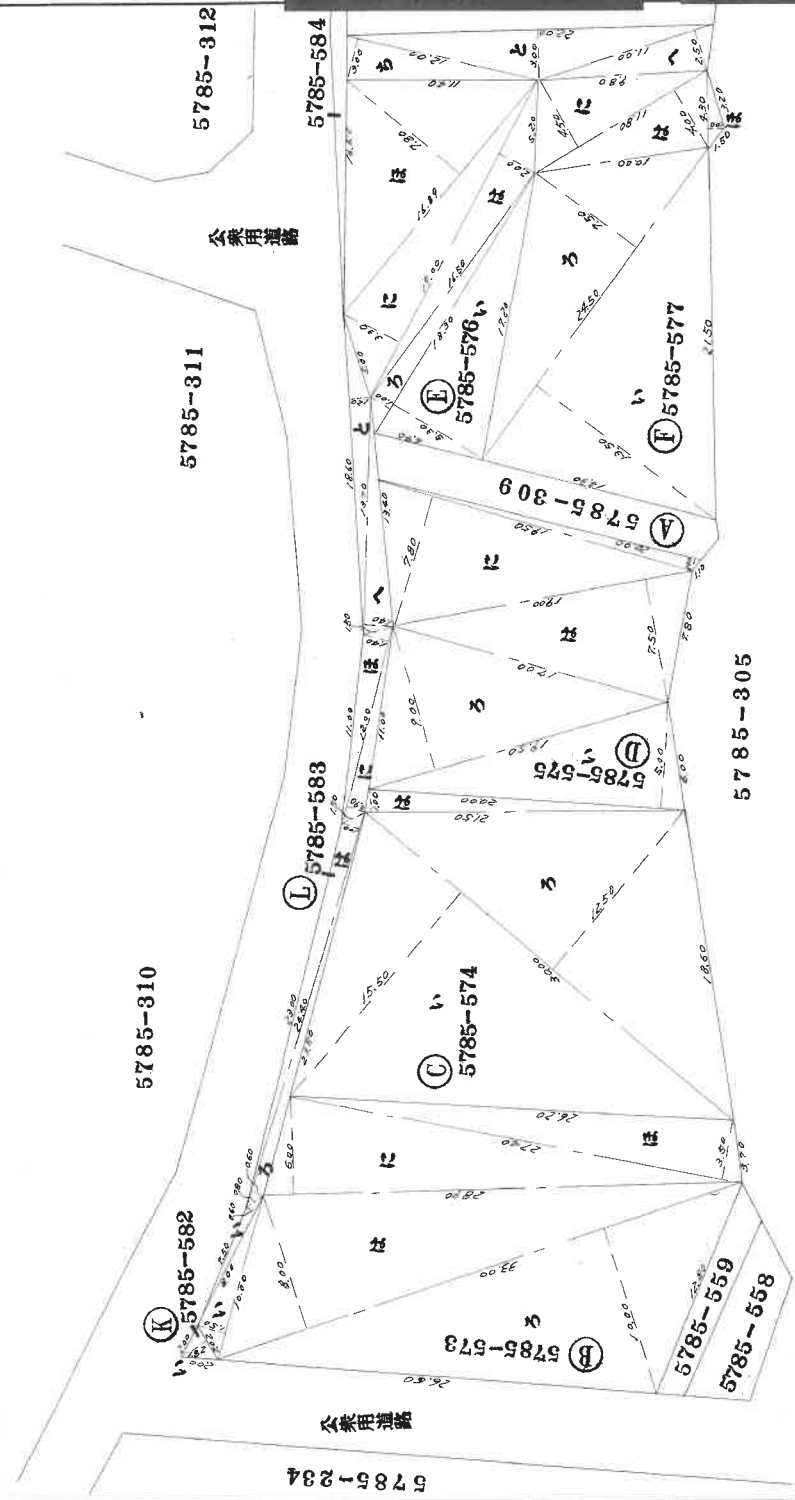
作製年月日	昭和五〇年七月廿八日
作製者	

申請人	
-----	--

地積測量図

5785-573-574-575-576
-577-582-583

小牧市大字大草字底見ヶ根



縮尺 1/300

登記年月日：昭和50年7月23日

1912003

地積測量図



地番	
土地の所在	小牧市大字大草字鹿見ヶ根

⑤ 5785-573

大斜小斜倍積面積	
い	10.00 15.00 50000
ろ	33.00 10.00 330000
は	33.00 8.00 264000
に	28.00 6.00 173400
ほ	27.40 3.50 95900
合計	8783000 439.15㎡

⑥ 5785-574

大斜小斜倍積面積	
い	30.00 15.50 4650000
ろ	30.00 12.50 3750000
は	21.50 1.00 215000
合計	8615000 430.75㎡

⑦ 5785-575

大斜小斜倍積面積	
い	20.00 5.00 100000
ろ	18.50 9.00 1665000
は	19.00 7.50 1425000
に	19.50 7.80 1521000
合計	3901000 295.05㎡

⑧ 5785-576

大斜小斜倍積面積	
い	18.30 5.30 96900
ろ	18.30 1.00 183000
は	19.00 2.00 380000
に	19.00 3.30 627000
ほ	16.89 7.80 1317420
合計	3477320 173.86㎡

⑨ 5785-577

大斜小斜倍積面積	
い	24.50 13.50 3307500
ろ	24.50 7.50 1837500
は	11.80 4.00 472000
に	11.80 4.50 531000
ほ	4.50 1.00 45000
へ	11.00 2.50 275000
と	22.00 3.00 660000
ち	12.00 3.00 360000
合計	7486000 374.30㎡

⑩ 5785-578

大斜小斜倍積面積	
い	23.50 5.00 1175000
ろ	29.00 10.00 2900000
は	29.00 13.00 3770000
合計	7845000 392.25㎡

⑪ 5785-579

大斜小斜倍積面積	
い	26.70 10.50 2803500
ろ	28.00 4.50 1260000
は	28.00 12.50 3500000
合計	7563500 378.17㎡

⑫ 5785-580

大斜小斜倍積面積	
い	25.50 10.00 2550000
ろ	25.50 4.50 1147500
は	29.00 7.70 2233000
に	29.00 4.00 1160000
合計	7090500 354.52㎡

⑬ 5785-581

大斜小斜倍積面積	
い	26.80 1.00 2680000
ろ	26.50 15.07 3993550
合計	4261550 2130.7㎡

⑭ 5785-582

大斜小斜倍積面積	
い	2.02 1.82 36764
合計	18382 1.83㎡

⑮ 5785-583

大斜小斜倍積面積	
い	8.00 0.60 48000
ろ	24.40 0.60 146400
は	24.40 1.00 244000
に	12.00 0.90 108000
ほ	12.00 1.40 168000
へ	13.70 1.40 191800
と	18.60 1.20 223200
合計	1124400 56.47㎡

⑯ 5785-584

大斜小斜倍積面積	
い	16.60 1.00 1660000
ろ	39.90 1.00 3990000
は	40.00 0.70 280000
に	20.50 0.70 143500
ほ	20.80 0.70 145600
合計	1134100 56.70㎡

昭和五〇年七月二十八日	製作者
申請人	

縮尺	1/
----	----

登記年月日：平成1年8月8日

1754907

各階平面図

家屋番号 5785-578

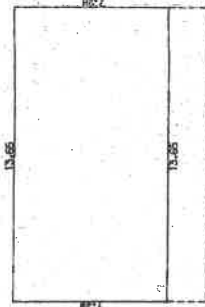
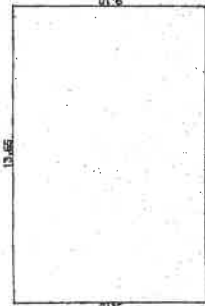
建物図面

建物の所在

小牧市大字草子鹿見ヶ根5785番地578

1 階

2 階



1 階
 $13.65 \times 9.10 = 124.2150$
床面積 124.21 m²

2 階
 $13.65 \times 7.28 = 99.3720$
床面積 99.37 m²

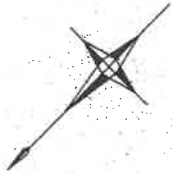
道路

5785-578

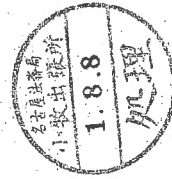
5785-579

5785-577

85-305



A4判に縮小



作製者

申請人

縮尺

1/250

縮尺

1/500

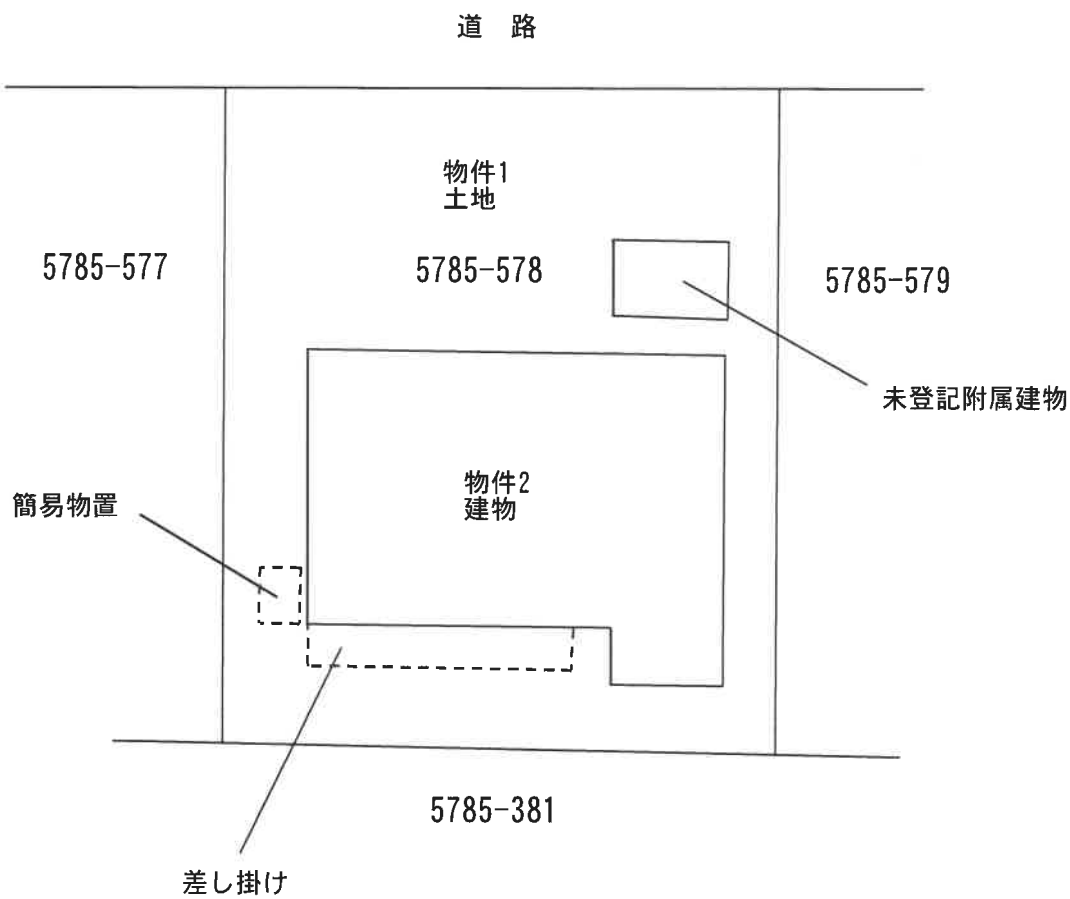
これは図面に記録されている内容を証明した書面である。

(名古屋法務局春日井支局書庫)

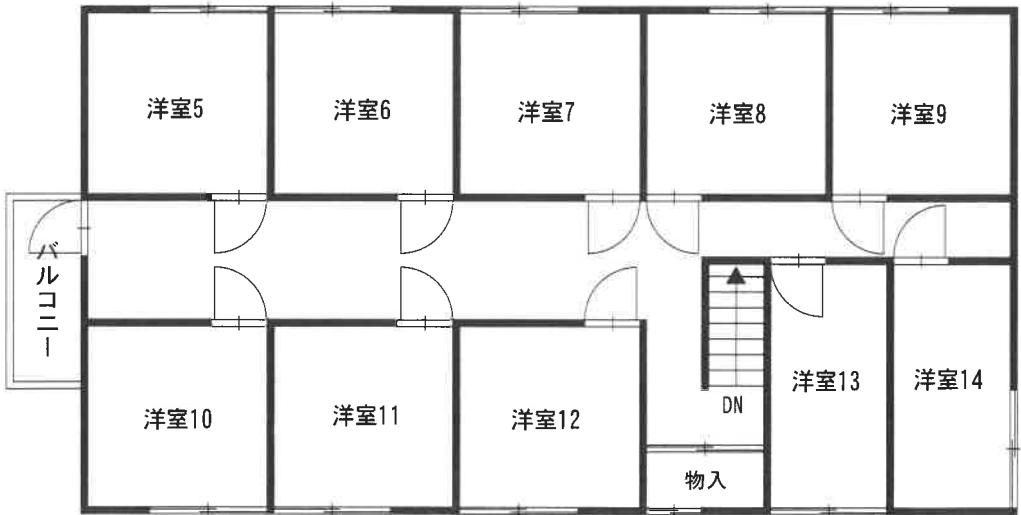
令和7年4月24日

名古屋法務局

登記官



令和7年（ケ）第129号
建物間取図（概略）



現況写真

①



②

